雫のごとく

10月号
富士市立富士南中学校
令和８年10月吉日

地域とともに　多くの皆様に支えられて　～トークフォークダンス開催～

10月２日（金）に、３年生と学校運営協議会の共同開催で、「トークフォークダンス」を開催しました。「トークフォークダンス」とは、フォークダンスのように大きな輪になって、内側の人と外側の人がテーマについてトークで思いを伝え合う活動です。活動の際は、数分ごとに相手が入れ替わり、テーマも変わり、短い時間でたくさんの方々と思いを伝え合うことのできる活動です。そんなトークフォークダンスも、本年度で３回目の開催となりました。今回も２時間に渡る活動に延べ200人近い地域の方々が参加していただけるなど、中学生と地域の皆様をつなぐ大切な機会となっております。ほんの一部ではありますが、当日参加された方々の感想を紹介いたします。



【中学生より】

・地域の皆さんと様々なお話ができたことがとても楽しく、もっと時間が欲しかったです。とても貴重なお話を聞けてこれからの生き方に今回の経験を生かしていきたいなと感じました。貴重なお時間をありがとうございました。
・話したことがない人と話すことはすごく難しかったけれど、同じお題なのに答えが違い大変勉強になりました。



【地域の皆様より】

・とても楽しくお話ができました。初めての皆さんと良い思い出になりました。ありがとうございました。
・皆、とてもしっかりしていてビックリするくらい良い子たちばかりで、南中学区の未来は明るいと思います。
・中学生の大人っぽさにびっくりしました。お題も楽しいものが多く、大変楽しい時間でした。

善行賞　やさしく生きる　＋　南中１年生のちょっといいお話し

前期には、たくさんの心温まる「やさしく生きる」南中生の活躍がありましたので紹介させていただきます。

1　４月９日（木）に、森島にあるポテト付近の道路で、介護施設の車が、歩道の縁石に乗り上げて、動けなくなってしまっていたところ、進んで交通整理を行ってくれた南中生がいました。レッカー車が来るまでの長い時間、交通誘導をしてくれたそうです。

困っている人に気づき、進んで行動できる姿が大変すばらしかったです。

2　９月７日（月）の朝、登校中の南中生が、宮下付近のお宅の庭で倒れているおじいさんを見かけ、すぐに通学路の見守りをしてくださっている民生児童委員の方へ声をかけ、そこから福祉センターの方々が救助に向かうことができました。

目の前の状況を考え素早く行動できる南中生は本当にすばらしいと思いました。

3　10月１日（木）、２日（金）に、１年生を対象に小児生活習慣病検診が行われました。その際、診察していただいた学校医の先生や、富士市医師会の看護師の皆様より、「不安のある採血の前に大変落ち着いて待機できていてすばらしいです」「診察後に丁寧なお礼をもらえて本当にうれしかったです」というお褒めのお言葉をいただきました。

善行賞ではありませんが、南中のちょっといい話として、１年生のすばらしさを紹介させていただきました。